

# 緊急事態宣言中でのボランティア・市民活動状況調査 結果

回答期間：令和2年5月18日～5月27日

回答者：「応援します！地域福祉活動助成」申請団体、および、子どもの居場所づくり助成金申請団体

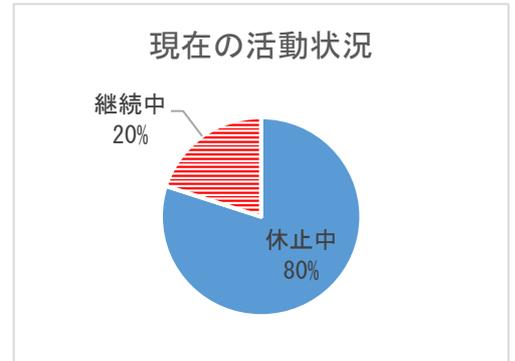
回答数：15団体

## 1. 活動状況について

継続中：2団体 休止中：13団体

活動状況については、大半の団体が、感染予防・高齢者が多い・会場が使えない、三密が避けられないという理由から、活動を休止しています。

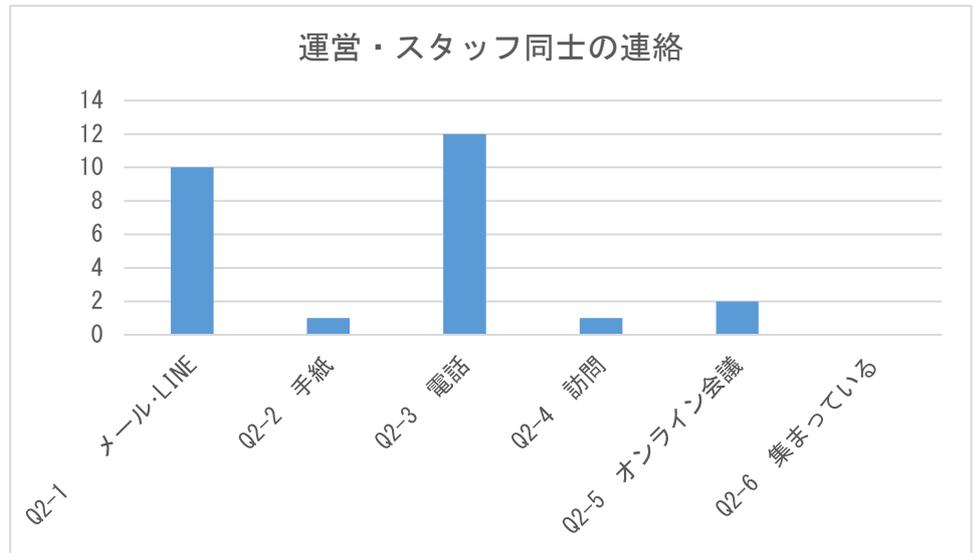
一方、活動報告書の作成などで、活動を継続している団体もありました。



## 2. ボランティア・運営スタッフ同士での連絡について

全ての団体でボランティア・運営スタッフ同士連絡を取り合っています。連絡手段については、メールやLINE・電話で実施されています。

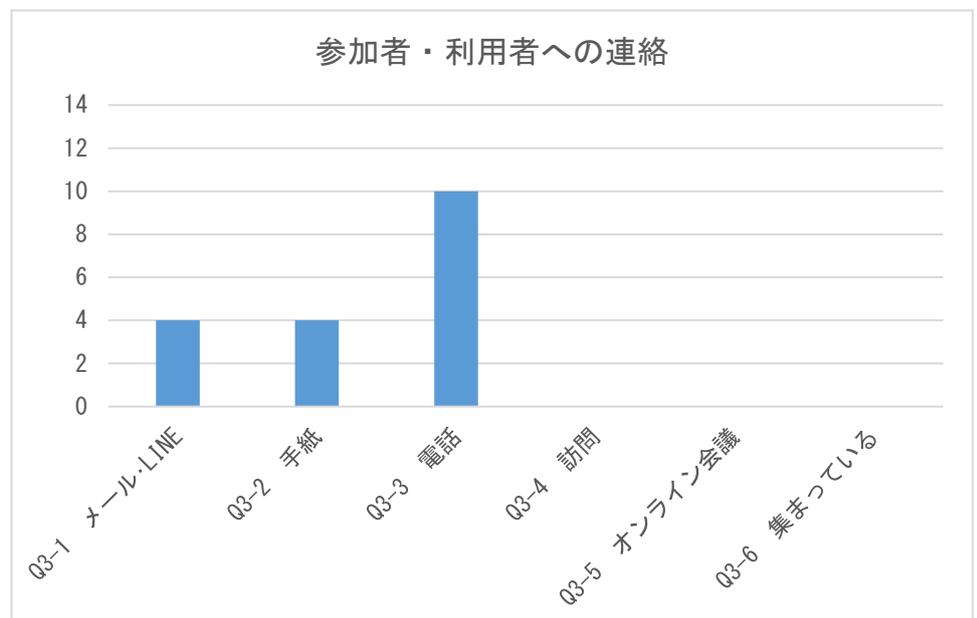
一部、打合せを実施した団体からは、「入口に消毒液を用意・打合せ30分前には換気をしてから、人と人との間を空ける・飲食はしない・人数は最小限」で行ったようです。



## 問3 参加者・利用者への連絡について

1団体を除き、全ての団体で連絡を取っていました。

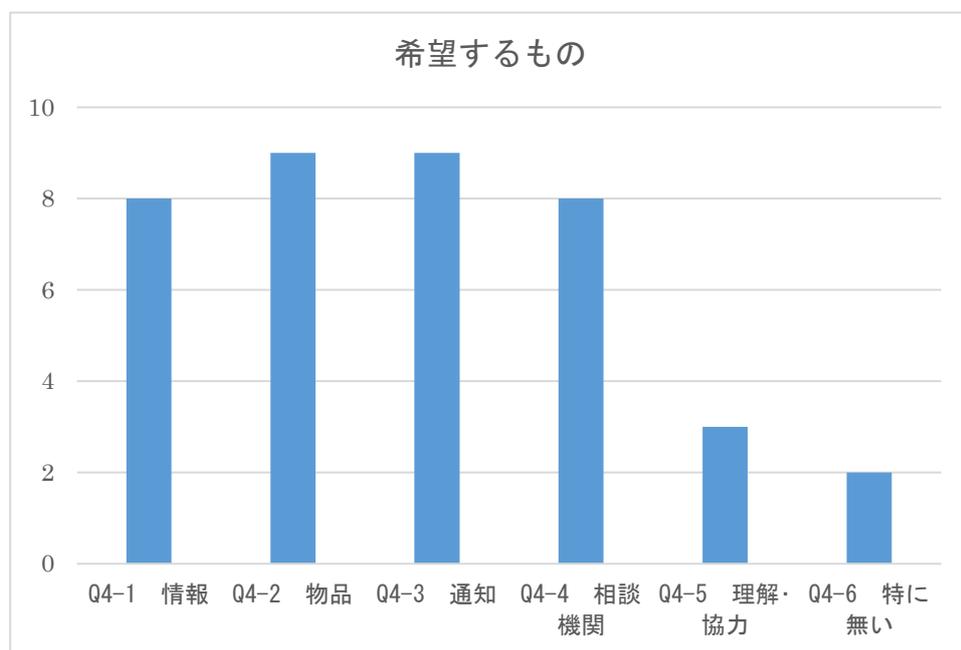
具体的な取り組みとして、「高齢者の食事会の代わりに電話での安否確認を行った」、「給付金サギ注意」「コロナ対策」「フレイル予防のチラシ（地域包括支援センターから提供されたもの）」を配布した」「今回をきっかけにお便りを発行し、郵送した」「利用者に「お元気ですかコール」を定期的に行った」「町内会の回覧や掲示板の利用と手紙による



連絡周知を実施」、「スタッフが2～3名で1グループ約10軒、サロン利用者の玄関訪問で安否確認をする予定」など、今までの活動から変更しつつ、今までのつながりを切らないような取り組みがあげられました。

#### 4. 活動再開に向けて希望することについて

感染予防に関する情報・物品、再開に向けた通知のほか、活動への相談にのってほしいという意見が多く寄せられました。活動再開について、地域の方からの理解が得にくいという意見も一部寄せられました。飲食を伴う活動を行う団体としては、感染予防をしながら実施できるのかが不安という声が、寄せられました。さらに、他の団体との情報交換をしたいという希望も寄せられました。



#### 5 他の活動団体に聞いてみたいことや、現在活動団体で取り組んでいることなど【一部抜粋】

- ・情報を是非共有したい。
- ・感染予防対策や食事を提供する為の注意事項
- ・食事提供している団体の再開の時期の目安が知りたい。（具体的に何月何日から再開予定があるといった事。）
- ・利用者との連絡はどの様に行っているか（電話連絡以外に）
- ・生活困窮世帯に繋がり、食料を届ける活動を行う。（子どもの居場所）
- ・会員数が少ないので、皆さんと連絡をとりながら、無理のない状態で活動を続けていく。